



**JFA キッズ(U-6/U-8/U-10)
サッカーフェスティバル 2009 いわて**

JFA Kids' Soccer Festival

in いわてまち 写真館

日 時: 2009年7月12日(日) 10:00~12:30

会 場: 岩手町総合グラウンド(天然芝)

主 催: (社)岩手県サッカー協会

共 催: 岩手町教育委員会 / 岩手町体育協会

主 管: (社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 / (社)岩手県サッカー協会 県北支部 / 岩手町サッカー協会

後 援: (財)日本サッカー協会 (JFA)

内 容: クリニック的なウォーミングアップ、原則5人制ゲーム(1チームあたり3試合)

* サッカーに親しんだことのない子供も含め、多くの子供にボールを蹴る楽しみを味わってもらう

参加者: 212名 (U-6: 45名、U-8: 61名、U-10: 106名)

運営スタッフ: 28名

岩手町サッカー協会 / 岩手町役場サッカー部 / 岩手サッカークラブ / 石神の丘FC / ゆはずフィゼンツ育成会

岩手県サッカー協会 キッズ委員会 (荒川 裕司、蝦名 浩明、武蔵 進、鎌澤 和之)

* 地元責任者: 高橋 真樹 (岩手町サッカー協会 / 岩手県サッカー協会 キッズ巡回指導スタッフ)

* 統括責任者: 荒川 裕司

【会場】



【横断幕】



【アトラクション】



【開会式】



【 U-6 】



参加賞お渡し

集合写真 Aコート



集合写真 Bコート

チーム紹介

Aコート: ひなぎくキッズ / 城山保育園・竹組 / よこた
 Bコート: ひなぎドリームス / 城山保育園・松組 A /
 城山保育園・松組 B / グリーンキッズ

U-6 カテゴリー責任者コメント

試合ではボールを追いかけることがなかなかできない様子が見られましたが、続けている中で試合らしくなりました。
 コーチや園の先生が元気づけながら応援し、子供たちは思い通りのプレーをしてくれました。

(武蔵 進)



[U-8]



集合写真 Cコート

集合写真 Dコート



集合写真 Cコート



チーム紹介

Cコート: ルーキーズ / エスペランサ玉山ジュニア
FCJ1989Jr U-8 / ブルーキッズ

Dコート: 城山保育園・学童 A / 大更ヒーローズ / 月が丘
Eコート: 城山保育園・学童 B / 大更エンペラーズ / MOON

U-8 カテゴリー責任者コメント

熱烈な応援を受け、子供たちは一生懸命プレーしていました。サッカーに慣れている子もあまり慣れていない子も、あきらめずにボールを追うことが得点やシュートブロックに結びつくことを実感してくれたようです。

(鎌澤 和之)

【 U-10 】



集合写真 Fコート



集合写真 Gコート



集合写真 Hコート



集合写真 Iコート



チーム紹介

Fコート： TSS / FCJ1989Jr U-9 / 二戸 B / 鶺鴒 B

Gコート： 鶺鴒 A / ゆはず FC フィゼンツ / 米内 / 二戸 C

Hコート： 葛巻 SSS / 二戸 A / 月が丘 / エスペランサ玉山ジュニア B

Iコート： FCJ1989Jr U-10 / MOON / エスペランサ玉山ジュニア A / 大更

U-10 カテゴリー責任者コメント

今回、フットサルゴールを使用して GK ありルールを導入しましたが、どのチームからも「良かった」という意見が聞かれました。U-10 ではサッカーのルールが理解できてきて試合も本格的になるので、今後のフェスティバルでもフットサルゴールを用意したいと思いました。

応援もあたたかく、子供たちは最後まで楽しくプレーできていたと思います。

(蝦名 浩明)

地元責任者コメント

梅雨の時期としては珍しく晴天に恵まれ、子供たちは芝生のグラウンドを走り回り、地元の協会としては開催することができたことを大変嬉しく思います。

子供たちはこの日を大変前から楽しみにしていたらしく、町で会うと「今度サッカー行くから」という声をよく聞きました。

当日はそれぞれのカテゴリーに分かれ、ゲーム中心でおこないました。ゲームでは喧嘩をするほど夢中になる子供もあり、その真剣な顔を間近に見ると、運営する側も全力で子供たちのためにがんばらなくてはいけないと感じました。

このフェスティバルは、地域にとって非常に大切な位置づけとしてとらえております。

今後も継続して開催し、サッカー普及のために取り組んでまいりたいと考えております。

(高橋 真樹)

運営統括者コメント

好天に恵まれ、絶好の環境の中で 200 名を超える子供たちが、サッカーを存分に楽しめた事と思います。

中でも、7 チームの参加があった U-6 は、応援の父母の方々を含め、大変盛り上がっていた様子でした。

また、個人参加者をはじめ、保育園や学童保育の仲間での参加があり、地元のフェスティバルとして根付きつつある様子が伺えました。

(荒川 裕司)